

由良要塞砲兵聯隊	山口竹中	仲一
佐大隊要塞砲兵聯隊	長崎平岡	秀顯
東京海軍要塞砲兵聯隊	鹿兒島有田	後達
由良要塞砲兵聯隊	熊本長谷川	義隆
東京海軍要塞砲兵聯隊	熊本野間	安
由良要塞砲兵聯隊	鹿児島副田	四郎助
東京海軍要塞砲兵聯隊	佐賀伊津	房吉
下關要塞砲兵聯隊	新潟大浦	常雄
東宮海軍要塞砲兵聯隊	長野土井	貞一
鐵道要塞砲兵聯隊	鳥取真一	
中隊要塞砲兵聯隊	廣島寺木	眞一
由良要塞砲兵聯隊	宮崎黒木	正一
下關要塞砲兵聯隊	大分小村	德三
東京海軍要塞砲兵聯隊	福岡中野	嘉市
由良要塞砲兵聯隊	福井多田	詢治郎
佐大隊要塞砲兵聯隊	熊本手澤	千尋
東京海軍要塞砲兵聯隊	宮城全澤	修八
由良要塞砲兵聯隊	和歌山土肥	實太
東京海軍要塞砲兵聯隊	愛媛松濱	耕助
下關要塞砲兵聯隊	香川坂元	友次
東宮海軍要塞砲兵聯隊	高知西澤	友次
鐵道要塞砲兵聯隊	徳島安田	

佐世保要塞砲兵聯隊第 一大隊	鹿兒島	島飼	四郎助	東京灣要塞砲兵聯隊	福島	藤田	末吉
東京灣要塞砲兵聯隊	長野	早川	嘉助	東京灣要塞砲兵聯隊	三重	神部	彦三郎
東京灣要塞砲兵聯隊	山形	山形	山形	東京灣要塞砲兵聯隊	香川	吉田	富次

[illegible][illegible]

(1)

44571

(農商部) 大府内ヨリ撰給及産材純實ノ財流云ノ如ク報告アリ

製絲 本年蚕蠶ハ良好候不順ノ事アリ一時多少ノ覺ありテ先般天候順ニ復シ統勢又一變シタルヲ以テ豫備蓄積シテ收購モ亦好結果ヲ得ルニシテ養蠶業者ノ多数ノ收購ノ機望アリ適テ製絲ノスルハ毛毛モ唯自家ニ供スルニ過キナシ

蜜柑 本年ハ風雨ノ害ナク結實好キナルヲ以テ前年ニ比シ三割餘ノ増收ヲ見ルヘシト雖モ近來肥料ノ價格不廉ニ因リ一般農圃ヲ防護セル間ニ不足ノ虞アリ雖モ收穫得サルハ其數亦尠ナク二十

○生絲検査週報 横濱生絲検査所 於テ去月二十二日ヨリ同二十七日ニ至ル一週間内外生絲貿易商及地方生絲製産者ノ請求ニ應ジ検査ヲ施行セシモノ

左ノ如シ 表欄内參考 (農商部)

検査項目	器機	坐絨	種別件數	内國人	外人	計
原正 正量 仲度 強度	三					三
再絨 強度 節節 強度	九		四			一三
再絨 強度 強力 仲度	一					一
再絨 強度 節節	一					一
再絨 強度	一					一
織度	一					一
合計	九	四	一三	一五	一六	三〇

○第二回水産博覽會錄事
兵庫縣神戸市ニ開設ノ第二回水産博覽會去月二十一日ヨリ同二
來觀人員左ノ如シ去月二十五日
本縣内參看（第二回水産博覽會事務局）

月	日	七曜	通常入場券	優待券	特別券	軍人學生	計	以外ノ入場
十月	十一	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十二	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十三	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十四	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十五	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十六	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十七	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十八	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	十九	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十一	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十二	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十三	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十四	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十五	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十六	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十七	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十八	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	二十九	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	三十	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
十月	三十一	日	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	本館水族	以上ノ内
計								
總計								
二、五八八	二、四四八	八、六六七	三、三三三	二、二二二	一、一〇〇	四、四四四	一、一〇〇	一、一〇〇
二、五八八	二、四四八	八、六六七	三、三三三	二、二二二	一、一〇〇	四、四四四	一、一〇〇	一、一〇〇

○道路橋梁修繕ノ習慣　臺灣ニ於ケル道路橋梁ノ修繕ニ關スル習慣左ノ如シ

(臺灣府志)

臺灣府内各市街地方除テ外金馬劉八處皆ノ道路ト橋スヘキモノナリ且人馬ノ馳騁ニ堪フキ小徑狹路ヲリテ僅ニ各地ニ交通シ充テミ沢川ニ於ケル橋梁如キ橋ヲ見ルアルモ市街若ハ特殊ノ事情アリテニ架設セザル彼ノ大河流ニハ他ニ方法ヲ架設セザルモノハ絶無ニシテ多クハ渡船ヲ用ヒ普通ニ河川ハ徒渉シテハ可ナリトシ他ニ二河ヲ見ルモノハ木橋ト樹木ト樹皮ト

[illegible]

官報 第四三二七號 明治三十年十二月二日